

永田 勝美 議員

新総合計画での

財政負担軽減の視点は

問 将来の財政負担軽減の視点から、公共施設の統合や既存事業の見直しについてどう考えるか。

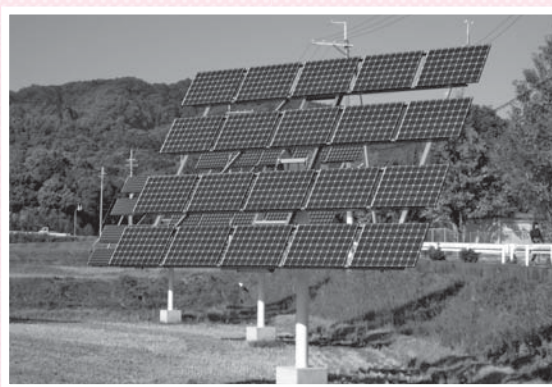
答 現状把握のため、公共施設白書の作成に取り組んでいる。維持管理費・運営費用の抑制には、統合や複合化による総量削減が必要と考える。

袋井市の公共交通

今後の取り組みは

問 自主運行バス・地域協働運行バスの今後の取り組みは。

答 路線バス・自主運行バス・地域協働運行バスに加え、今後は利用者が事前に予約する乗り合いタクシー（デマンドタクシー）や、タクシーチケット補助などの検討を行い、市民が利用しやすい公共交通を検討していきたい。



田に設置された太陽光発電システム（姫路市）

営農用太陽光発電施設の

安全対策は

問 農地の一時転用による営農用発電設備設置は、撤去を前提としており安全基準がない。近年、突風等の異常気象も発生しているが、安全対策はどうか。

答 設備の設置申請者に対しては、地域に迷惑をかけないように風対策などの安全・安心に強く注意を促してきました。

廣岡 英一 議員

健康文化都市建設には

ソフト戦略が必要

問 行政のすべての分野を文化的視点から見直し、自己革新を達成し、市民との協働を推進する「行政の文化化」が必要ではないか。

答 行政の文化化は、質的な価値に重きを置いて展開すること。農を活かしたまちづくり、彫刻を活かしたまちづくり、政策のPDCAサイクルによる自己評価、市民と行政のパートナーシップ等、着実に進んでいると認識している。

問 市民力の向上に向け、パートナーシップ500人会議の方たちを含めた社会関係資本を構築すべきでは。

答 この方たちは高い意識を持っておられ、今後も得意とされる分野でまちづくりに参画し、活躍していただけるものと確信している。



パートナーシップ500人会議 みちとみずとみどりの部会

問 健康文化都市の姿を「見える化」することが必要で、総合計画は行政事務・事業を中心とした「C-1戦略」と言えるのではないか。

答 総合計画は、C-1戦略と重なる部分もあるが、そのものではない。本市のC-1は、市民と行政が一体となって袋井らしさを高めることにつながるものである。本市の良いところを磨き上げる活動を、C-1戦略として、より分かりやすく伝えるよう努めたい。